

銀座まちづくりビジョン

所在地： 東京都中央区銀座
 発注者： 銀座通連合会
 期間： 1998～1999
 業務概要： 銀座都市計画会議の運営
 アンケート調査の企画・まとめ
 ワークショップの企画、まとめ
 銀座まちづくりビジョンの策定

日本を代表する“盛り場”である銀座も、銀座地区の容積率の大幅緩和、銀座の商店経営者の世代交代問題、銀座住民の減少など、様々な問題・課題を抱えている。また、周辺部の再開発や地域特性の変化がきわめて速いテンポで完成、あるいは進行しつつある。

このような中、地元商店主の連合組織である銀座通連合会や専門家などと共に、銀座の将来のまちづくりについて、様々な議論を重ねてきた。まちづくりワークショップを通して、銀座で商売を営み、働く人達の意見と銀座のまちづくりの資源や課題を共有した。また、インターネットによるアンケート調査を実施し、広く銀座を愛し利用する人々の意見を集約した。

銀座通連合会80周年の記念事業として、これからの銀座がどのようなまちづくりを目指すべきか、という観点から1999年に「銀座まちづくりビジョン～銀座通りに柳は必要か」と題する小冊子をまとめた。まちづくりビジョンでは、銀座が歴史と伝統の中でつちかしてきた地域独自の個性や場所性を尊重し、「水辺再生と路地の活性—生命のダイナミズム、”新銀プラ計画—環境とコミュニケーション、#新しい銀座カルチャーの創造—情報発信、を3つの提言としてまとめている。また銀座の新しいまちづくりの活動を推進するための4つの組織の設置についても提案に加えている。

まちづくりビジョンはまちづくりに対する銀座内の意志を統一し、銀座内外にその意志を伝えさまざまな活動を引き起こすためのベースを提供したといえる。

